

市立中学校における部活動中の事故について

令和8年9月30日(水)、市立中学校の部活動中において、生徒が重傷を負う事故が発生しました。

負傷された生徒及び保護者様に心よりお見舞い申し上げますとともに、このような事故が発生させてしまったことについて、深くお詫び申し上げます。

事故詳細につきましては、次のとおりです。

1 事故発生日時

令和8年9月30日(水)16時34分

2 事故発生状況

令和8年9月30日(水)、グラウンドにおいて、陸上部の1年生男子生徒2名がペアを組み、一人が砲丸を投げ、もう一人が回収する形で練習を行っていました。その隣接する場所において、女子ハンドボール部が練習を行っていました。

16時34分、ハンドボールの練習場所から砲丸投げの練習場所に転がり出たボールを拾おうとした、女子ハンドボール部の1年生女子生徒の頭部に、男子生徒が投げた砲丸が当たり、当該生徒は重傷を負いました。

16時35分、学校は救急車を要請し、当該生徒は市内の病院へ搬送されました。

なお、当日は校内工事に伴い砲丸投げの練習場所を変更し、顧問の指導のもと、活動を行っていました。

3 被害生徒

1年生女子(12歳)

※ プライバシーの保護のため、学校名と氏名は公表を控えています。

4 負傷の状況及び現在の状態

頭蓋骨骨折により入院中。意識があり会話ができる。

5 学校及び市教育委員会の対応

(1) 学校の対応

事故発生後、速やかに救急車を要請し、保護者へ連絡を行うとともに、教職員が病院へ付き添いました。10月1日(木)に、警察へ事故発生の報告を行うとともに、事故原因の速やかな究明のため、校内調査委員会を立ち上げました。

本日10月2日(金)に、当該校の生徒全員に対し、今回の事故について説明するとともに、女子ハンドボール部及び陸上部の生徒の保護者を対象とした説明会を開催し、事故の経緯説明と今後の対応についてお伝えします。また、両部活動の生徒に対しては、スクールカウンセラーによる心のケアなど、必要な支援を行います。

当該校の保護者へは、学校情報配信アプリ「ホーム&スクール」で事故の概要を伝えるとともに、10月5日(月)に、改めて事故の経緯や今後の再発防止策を記載した文書を発出します。

(2) 市教育委員会の対応

10月1日(木)に、事故防止に向けた緊急校長会議を開催し、全校における部活動の点検を実施するとともに、安全配慮の徹底を指示しました。また、10月6日(火)に改めて緊急校長会議を開催し、さらなる安全確保の徹底を指示します。

6 再発防止に向けた取組

本件を極めて重く受け止め、市教育委員会として以下の再発防止策を徹底します。

- (1) 全校に対し、部活動における安全点検及び事故防止の注意喚起を重ねて実施します。休日の地域クラブ活動についても同様に、安全点検や注意喚起を行い、安全確保の徹底を図ります。
- (2) 全ての学校において、部活動時の安全管理体制や動線の確認、複数の部活動が同一場所で活動する際の安全配慮と事故防止の徹底を図ります。また、その結果を集約、検証し、継続的に安全管理体制の改善を図ります。